

1 前提：民法Ⅰ（金曜7・8講時）を受講していること（同時受講で可）。

2 教科書

角 紀代恵『民法Ⅰ 民法総則・物権法総論 2版』新世社 2250円＋税

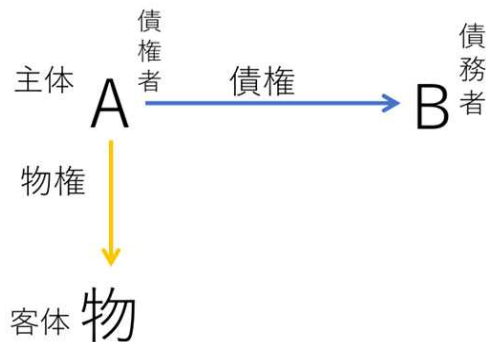
六法（どうしても、六法を買いたくない人は、ネットで検索）

ネット e-Gov(イーガブ：電子政府)の法令：Google等により「法令検索」で検索
必要な法律にリンクを貼る

3 民法典の構成とこの授業の構成

民法典		法学部の授業構成		この授業	
第1編	総則	1部	総則	民法Ⅰ	不法行為法（債権各論）
第2編	物権	2部	物権法	Ⅱ	商品売買法（債権総論・各論）
第3編	債権	3部	債権総論	Ⅲ	不動産取引法（総則・物権法）
		4部	債権各論	Ⅳ	金融取引法（債権総論・物権法）
第4編	親族	5部	家族法		
第5編	相続				

○物権と債権



(1) 民法典の体系通りに勉強しない理由

パンデクテン体系（総則を伴う）は勉強しにくい

総則とは、各則の共通項： $ab+ac=a(b+c)$ aが総則 bとcが各則

例：売買上のトラブル ①売買 555条以下（契約各則）、②契約総則 521条以下、

③債権総則 399条以下、④（民法）総則

以上を見なければならない。

(2) 債権の発生原因（債権各則） ①契約（521条以下） ②事務管理（697条以下）

③不当利得（703条以下） ④不法行為（709条以下）

(3) 請求権と抗弁 裁判（口頭弁論）上の攻撃・防御の方法 民事訴訟法 156条・161条

請求権の発生原因：①物権、②債権、③親族関係

裁判（給付訴訟）の勝敗：原告に請求権があり、被告が抗弁できなければ、原告の勝ち

4 例題1の小テストは、民法Ⅰの例題1の小テストが終了した後に実施する。

ただし、小テストの実施が困難な状況が継続する可能性あり。